

2008 年度

科目名 障害児教育特講	対象学科・学年 専攻科教員 1 回生	担当者 小田 浩伸 石川 慶和
授業テーマ 障害のある子どもの実態把握、個別の支援計画の作成、保護者との連携、チームアプローチ等について実践的に学ぶ		
授業の概要と目標 発達障害（LD・ADHD・高機能自閉症等）、知的障害、肢体不自由等の子どもとの関わりや支援実習を通して、個別の指導・支援計画の立て方や指導・支援の方法を実践的に学ぶこと、及び、障害のある子どもの保護者の悩みや心情等を理解することが、この授業（演習）のねらいである。今後の特別支援教育の実践に役立つことを期待している。 * 本科目は 木曜 4 限・5 限の連続授業です。		
評価方法 出席状況、実践実習に参加したときの観察記録、及び、毎回の実践報告レポート等により総合的に評価する		
テキスト 随時プリントを配布する。	著者	出版社
参考書 必要に応じて適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 - オリエンテーション ①本授業（実践実習・チームアプローチ）の意義について ②授業の進め方・スケジュールについて等 ③授業に参加する上での留意事項等 - 指導・支援の活動プログラム ①個別の指導・支援計画の作成 ②個別課題の設定 ③集団場面での課題設定 ④支援計画に基づく指導・支援の実践 ⑤保護者との話し合い（連携） ⑥事例研究（カンファレンス） - 指導・支援の実習内容（例） ①行動支援のアプローチ（問題となる行動の理解と支援） ②ことばの指導（発声・発語指導等） ③コミュニケーションの指導（視覚支援プログラム） ④心身のリラクゼーションの指導（動作指導、リラクゼーション技法） ⑤教科の基礎学習（国語、算数の基礎学習等） ⑥教材・教具の作成（スケジュール表、手順表等の作成） - 事例研究（カンファレンス）について ①子どもの様子を詳細に報告する（事実と推測を分けて報告の仕方を学ぶ） ②個別の支援計画を作成し、計画－実践－評価の観点で検討・協議する ③ディスカッションを通して、子どもの見方や指導内容のレパートリーを拡げる ④次回の課題と準備について確認する * 毎回の実践報告レポートをチームで作成して提出する - まとめ（個別の支援計画 Plan－Do－See について） ①子どもとの関わりで学んだこと ②保護者との情報交換の場で学んだこと ③個に応じた指導・支援の在り方について		